



ロータリー財団未来の夢計画

参照用引き

ロータリー財団が進化と前進を遂げ、その使命を果たしていけるよう、2008年、財団管理委員会は、未来志向の長期的アプローチである「未来の夢計画」を採択しました。この手引きは、未来の夢計画の内容に関する基本情報、およびその目的と目標をまとめたものです。

ニーズ

- 長年にわたり、財団はすべての人々にすべてを提供しようと努め、あまりに幅広い活動に資金を配分してきました。財団がリソースを最大限に生かし、これをロータリアンが最も得意とする分野に注いでいくことによって、ロータリアンは、より大きな成果を生み出し、それを末永く持続させていくことができます。ポリオ・プラスの顕著な成果は、このアプローチの真価を物語っており、未来の計画にふさわしいことを示しています。
- ゲイツ財団、世界保健機関、ユニセフ、米国疾病対策センターとの協同での取り組みによって、国際開発の分野におけるロータリーの存在感は大きく高まりました。未来の夢計画は、多大な成果を生む、焦点を絞ったプロジェクトと人道的目標を通じて、ロータリーの公共イメージをさらに高める機会となります。
- 世界が大きく変化したにもかかわらず、設立から数十年間、ロータリー財団のプログラムには大きな変更が加えられたことはありません。財団プログラムを利用するロータリアンが増えるにつれ、運営費も膨大になりました。小額の補助金の場合、その処理と手続きにかかるコストが、補助金自体よりも高くつくことさえありました。
- 現行のシステムに不満を抱くロータリアンから、もっと利用しやすい財団、補助金申請手続きの改善、さらなる自主性を求める声が挙がっています。

目的

ロータリーのシニア・リーダーと草の根のロータリアンをはじめ、さまざまな関係者からの意見を基に、財団管理委員会は、以下を目的とする未来の夢計画を立案しました。

- 大きな成果を生み、それを持続させるため、財団の使命に奉仕の焦点を絞ること。
- 慈善、奉仕、平和推進の分野におけるロータリーの信頼性とリーダーシップを高めること。
- クラブと地区が世界的目標と地元での目標の両方を果たせるようなプログラムを提供すること。
- 意思決定権をさらに地区に移行することによって、地区レベルとクラブレベルで、ロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めること。
- 財団の使命に沿って、プログラムと運営を簡素化すること。
- 重要性が高く、大きな成果を生む人道的プロジェクト、ならびに代表的な非政府組織や団体との協力関係（パートナーシップ）を通じて、ロータリーの公共イメージを高めること。

構成

未来の夢計画には、「新地区補助金」と「グローバル補助金」の2種類の補助金があります。

- **新地区補助金**は、一括して地区に支給されるもので、地区財団活動資金 (DDF) の50%までを利用することができます。地区は、奨学金や職業研修チームの派遣、奉仕活動の支援、災害救援、地元や海外での奉仕プロジェクトの実施にこの補助金を使うことができます。新地区補助金は、ロータリアンが緊急のニーズに対応したり、ロータリー財団の使命の範囲に当てはまる小規模なプロジェクトを地元や海外で実施したりすることを可能にします。
- **グローバル補助金**は、国際財団活動資金 (WF) を通じて15,000米ドルから200,000米ドルまでの資金を提供するもので、以下の6つの重点分野に関連する、大きな影響と持続可能な成果をもたらす大規模な人道的プロジェクト、奨学金、職業研修チームを支援します。
 - 平和と紛争予防／紛争解決
 - 水と衛生設備
 - 基本的教育と識字率向上
 - 疾病予防と治療
 - 母子の健康
 - 経済と地域社会の発展

グローバル補助金には以下の2種類があります。

- **クラブと地区が立案するグローバル補助金**。提唱者が一部寄付し、それに対して財団の国際財団活動資金 (WF) から資金が上乘せされます。
- **パッケージ・グラント**。ロータリアンおよび関連する重点分野を専門とする協力組織との協力の下、財団が立案するこの補助金は、国際財団活動資金 (WF) および (または) 特定の協力組織からの財政的支援によって100%賄われます。パッケージ・グラントは、クラブと地区が効果的かつ効率的に実施できる既成のプロジェクトと活動を提供するものです。

協力組織

- ロータリー財団は、重点分野のいずれかを専門とする組織や団体を選び、協力関係を結びます。
- 協力組織は、グローバル補助金のパッケージ・グラントのために、技術的・財政的リソースを提供したり、提唱活動 (外部への支援の働きかけ) に協力したりします。

試験段階 (パイロット)

- 地区は、2009年5月15日までwww.rotary.orgの「会員アクセス」を通じて、未来の夢計画試験段階への参加をオンラインで申請することができます。
- 参加地区は、地区内クラブの3分の2の承認を得なければならない、また、2009-10年度中、ガバナーと地区財団委員長に義務づけられた研修を完了するなど、一定の参加資格要件を満たさなければなりません。
- 試験参加地区は、最高100地区まで選ばれます。試験地区は、地域、地区の規模、財団への関与のレベルなどに基づき、全体的なバランスを配慮した上で選ばれます。
- 未来の夢試験段階は、2010年7月1日から、2013年6月30日まで実施されます。
- 試験地区とそれ以外の地区が新地区補助金で協力することはできますが、グローバル補助金では、協同して活動できるのは試験地区同士のみとなります。
- 財団は、試験地区からのフィードバックを基に、2013-14年度の全地区における全面的な実施に先立ち、計画を改善していきます。

移行段階

- 未来の夢試験段階への参加・不参加を問わず、すべてのロータリー地区は、ポリオ・プラスおよびロータリー世界平和フェローシップ・プログラムに参加することができます。
- 試験地区以外の地区は、2013年6月末までは現行の補助金構成の下で運営されます。
- 現行の財団プログラムのいくつかは、2013-14年度に先立って段階的に廃止されます。これは、新モデルへの移行に必要なリソースを確保するのが目的です。2010-11ロータリー年度は、次の各プログラムに財団が補助金（奨学金）を授与する最後のプログラム年度となります：マルチイヤー国際親善奨学金、文化研修のための国際親善奨学金、大学教員のためのロータリー補助金、保健・飢餓救済・人間性尊重（3-H）補助金、ボランティア奉仕活動補助金、災害復興補助金。
- 試験地区以外の地区には、2012-13年度に、新しい補助金構成に関する研修が提供されます。

期待される成果

- ロータリー財団のグローバル補助金プロジェクトの規模の大きさと継続性により、ロータリアンは、より多くの人々に援助の手を差し伸べ、世界中でさらに多くの素晴らしい活動が行えるようになる。
- 6つの重点分野において大きな成果を生み出す活動を行っていくことができるため、国際開発、教育、平和推進、公共衛生といった分野、および地元の地域社会におけるロータリーの存在感が高まる。
- 公共イメージが高まることで、会員増強にもプラスの効果が現れ、財団への財政的支援も増える。
- 2020年までに、財団はプログラム運営費を削減し、合計600万ドルの純収益が実現される見通しとなっている。